

新製品ニュース



## 3D大画面ホームシアターがこの価格で！

### フルHDプロジェクターHD33S1 オプトマから新登場!!

株式会社オーエスプラスe（本社：東京、代表：奥村正之）は、DLP方式のホームユースプロジェクター、オプトマHD33S1を、12月1日より新発売いたします。オプトマHDシリーズはホームシアタープロジェクターとして、世界中で愛用されるシリーズです。今回発売するHD33S1は、1080Pフルハイビジョンの3D対応プロジェクターです。わずか4.5kgの筐体に高度な画像処理技術を結集し、市場想定価格25万円前後（3D眼鏡込）という低価格を実現いたしました。

「3Dは劇場のような大画面で」とご希望の映画ファンには待望のHD33S1です。

HD33S1には3D対応機種として秀でた特長があります。それが[DLP Link](#)です。超高速イメージングDLPチップは、左目用と右目用の画像を交互に投影しながら、左右のフレーム（画像）間にDLP Linkによる映像を送り、アクティブグラス（3D眼鏡）と通信します。この独創的な方法により、メガネに同期信号を送る発信器（エミッター）が不要になります。エミッターは通常外部設置のため、同期信号を映像に乗せて送るDLP Linkは設置の手間が省け、時間とコストが節約できます。またクロストークと呼ばれる左右画像の重なりによる、ゴーストのような現象もほとんど感じない明るい映像が得られます。

HD33S1は3Dばかりでなく、2Dの映像再現も十分な表現力を持ちます。明るさ1800lm、コントラスト比10,000:1の、クリアでくっきりとした映像を実現。マルチカラープロセッシングが備わった[Brilliant Color™](#)のテクノロジーは、映像を更に繊細に、鮮明に再現します。さらにオプトマ独自のイメージコントロール[Pure Engine](#)が、よりデリケートな映像調整を可能にしています。

ホームコントロールに不可欠の12Vトリガー端子を装備、将来的なシステム拡張にも備えています。映画館のデジタルシネマで映像のすばらしさが定評のDLP方式。その映画館の画質をそのままに、手の届く価格を実現した、フルハイビジョンプロジェクターHD33S1。高級感のあるパールホワイトの本体は一般家庭のリビングにマッチし、3D時代を身近にするプロジェクターです。

**商品名：オプトマ フルハイビジョン3D対応ホームプロジェクター HD33S1**

**希望小売価格：**オープン

市場想定価格：25万円前後

**発売予定日** 2011年12月1日（木）

専用アクティブグラスZD201：

疲れにくい快適なフィット感



## ≪HD33S1 の主な特長≫

- フルハイビジョン DLP 方式、3D 対応
- 1800 ルーメン (UHP ランプ 230W)
- 3D アクティブグラス標準付属 (DLP Link 専用)
- 外付けエミッター不要の DLP Link 採用 (赤外線 3D 通信機能への切り替え端子も装備)
- クロストークのほとんど生じない 3D 映像
- 画面微調整に有効な V イメージシフト搭載
- Brilliant Color™テクノロジー採用、3 原色+3 色の補色による繊細な色彩再現
- より繊細な画像調整を可能にした Pure Engine
  - Pure Detail／画像のエッジを強調し、細部をくっきり表現
  - Pure Color／新しいカラーアルゴリズムとエンハンストを採用、映像の鮮明さを大幅にアップ
  - Pure Motion／自然な動きを損なわないアルゴリズム採用
  - Pure Engine Demo／処理されていない画面との比較を容易に行え、簡単な調整確認が可能
- 25dB の低騒音(ノーマルモード：標準時)

## ≪外付けエミッター(発振器)不要の DLP Link≫

超高速イメージングチップ DLP は、交互に二つの画面（右目用、左目用）を投写します。そして画像のフレームとフレームの間に、アクティブグラスへの追加信号を送り出し、奥行のある 3D 映像を結像します。一般的の 3D プロジェクターは、エミッターと言われるメガネへの発信器が必要ですが、HD33S1 は外付けエミッターが不要で、セッティングの煩わしさも、コストも無用になります。

※DLP Link を楽しむためには専用のアクティブグラスが必要です。（HD33S1 は標準装備）

## ≪視聴位置の自由な DLP Link≫

一般的に 3D に使用される赤外線エミッターは、なるべく画面センターに位置する事が好ましいなど、視聴ポジションに制約があり、また頭を動かす事も同期に影響がある場合があります。HD33S1 は 3D アクティブグラスへのシャッター切替信号を送出する際に、DLP Link を採用し映像そのものに信号を付加し発信するため、赤外線方式や電波方式と異なり、視聴ポジションの制約を受けることが少なくなります。

## ≪クロストークを感じない HD33S1≫

クロストークとは 3D 映像を見る際に、両目の映像を交互に高速で画面に映し出すため、瞬間に残像のように二重映像に見えることを言います。HD33S1 は最大 120Hz という高速で映像を映し出すと共に、上記のようにフレームの間に DLP Link 信号を出す独特の方法により、クロストークを極限まで低減しました。

## ≪Brilliant Color≫

ブリリアント・カラー・テクノロジーは新しい色彩処理アルゴリズムおよびシステム・レベルのカラー信号画質向上処理を使用し、より優れた色彩を提供しながら、さらに高い輝度の画像を実現します。

## 《HD33S1 の主な仕様》

型式	HD33S1
希望小売価格(税込)	オープン
本体カラー	パールホワイト
投写方式	単板 DLP™方式
表示素子※1	0.65型 1080p (1920×1080) DMD™パネル
アスペクト比※2	16:9、4:3、LBX、ネイティブ
明るさ(輝度)	1800 ルーメン
コントラスト	10,000:1
投写レンズ	1.2倍マニュアルズーム／マニュアルフォーカス
使用ランプ	230W ランプ(ユーザー交換可能)
ランプ寿命	4000 時間(ノーマルモード)／2500 時間(ライトモード)
投写距離(16:9)	1.5m(37.6型)～10m(301型)
キーストン補正	±5%(垂直)
ビデオ対応信号	HDTV(480P, 576P, 720P, 1080i/p)、480i, 576i, FULL NTSC、NTSC4.43、PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM, HDMI(480i/p, 576i/p, 720p, 1080i/p)
コンピューター信号	Up to UXGA(1600×1200)
入力端子	HDMI×2(HDMI1.4a, 3D フォーマット準拠)、VGA×1、コンポーネント×1、コンポジットビデオ×1、USB×1、VESA 3D port×1
トリガー出力	+12V
コントロール端子	RS-232
騒音値	25 dB(ノーマルモード)
電源	AC 100V～240V；50/60 Hz
消費電力	325W(ライトモード)／280W(ノーマルモード)／0.5W以下(待機時)
外形寸法(突起部含まず)	378.7(W)×312.8(D)×129.0(H)mm
製品質量	4.5 kg
付属品	アクティブグラス(3D眼鏡×1)、電源ケーブル、リモートコントローラー、レンズキャップ、単3電池2本、ボタン電池、ノーズキャップ、ユーザーズマニュアル、保証書、クイックスタートガイド

※1 DMD／DLP テクノロジーの中核をなす半導体、デジタル・マイクロミラー・デバイス。半導体上に可動する極小のミラーが HD33S1 (1920×1080) の場合 207 万個以上敷き詰められ、1 秒間に数千回というスピードで切り替えられて、ミラーに当たった光を反射して画像を再現する。※2 アスペクト比／画面の横と縦の比率。※DLP™、DMD™、DLPLink はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。※SVGA、XGA、WXGA™は IBM corp.の登録商標です。

### オプトマ社 Optoma corporation

1992 年創業。高品質な光学機器メーカーとして、欧米で OEM をはじめとした大きな実績を上げ、1999 年には米 TI 社が開発した DLP テクノロジーを採用、世界で初めて重量 5kg を切る DLP プロジェクターを開発。DLP プロジェクターにおいて、世界トップクラスのシェアを確立。2008 年 12 月発表の PK101 は大きな話題を呼び、ポケットプロジェクターという新しい市場を開拓。HD シリーズは、ホームシアター向けとしての映像作りに高い評価を得ている。

## 《本件に関するお問い合わせ》

株式会社オーエスプラス e 本社：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18  
コンタクトセンター  
電話：フリーダイヤル 0120-380-495 FAX：フリーダイヤル 0120-380-496  
E-mail info@os-worldwide.com

## 《本ニュースに関するお問合せ先・ニュース発信者》

株式会社オーエス 本部：〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-25-18  
マーケティンググループ 藤枝 昭  
TEL.03-3629-5356 FAX.03-3629-5187 E-mail a.fujieda@os-worldwide.com

## **株式会社オーエスプラス e 会社概要**

名称：株式会社オーエスプラス e

本社：東京都足立区綾瀬 3-25-18

創業：2000 年 10 月

資本金：1000 万円

代表者：代表取締役 奥村正之

事業内容：

2000 年 10 月 12 日創業以来、日本市場に「家庭で映画を」と言う、ホームシアター文化を提案・構築。社名変更を機に、ホームシアターに留まらず、更に映像文化に関する幅広い取り組みを推進し、業績拡大を目指す。オーエスグループの中でも、最もエンドユーザーに近い企業として、グループ全体のスローガンである「キモチをカタチに」の実現を目指す。

## 《株オーエスプラス e 関連企業》

株式会社オーエスエム 本社：兵庫県宍粟市 <http://jp.os-worldwide.com/osm/>

株式会社オーエス沖縄黒板 本社：沖縄県中頭郡 <http://jp.os-worldwide.com/osb/>

OSI CO., LTD. (Hong Kong) <http://hk.os-worldwide.com/>

喜摩租賃(北京)有限公司：中華人民共和国

## 《日本総販売代理店》

OPTOMA 社(台湾)／ 世界初のポケットプロジェクターを発表した DLP プロジェクターメーカー

Vogel's 社 (オランダ) / フラットディスプレイなどのスタイルッシュハンガーメーカー

SCREEN RESEARCH 社 (イタリア) / THX、ISF 公認のサウンドスクリーンメーカー

AV Stumpfl (オーストリア) / 画像処理技術で世界的に定評あるメーカー

EASTONE 社(日本) / 国産唯一の THX 認定スクリーン、eco スクリーンを開発する国内メーカー